



# 春一番、鹿島立ち

平成28年

# 3月9日(水)

# 鹿島祭頭祭



| 春季祭   | 奈良毛郷      |           |           |              |              |              |              |              |          |          | 萩原郷      |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|-------|-----------|-----------|-----------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|----------|----------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|       | 左 方       |           |           |              |              | 右 方          |              |              |          |          | 左 方      |       |       |       |       | 右 方   |       |       |       |       |
|       | 入数        | 組数        | 大総督       | 永作陽優         | 奈良毛郷         | 入数           | 組数           | 大総督          | 網中衆生     | 萩原郷      | 入数       | 組数    | 大総督   | 永作陽優  | 奈良毛郷  | 入数    | 組数    | 大総督   | 永作陽優  | 萩原郷   |
| 18:00 | 16:40     | 15:40     | 15:00     | 14:20        | 14:00        | 13:50        | 13:15        | 13:00        | 12:10    | 12:00    | 10:00    |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
| 春季祭   | 鹿島神宮境内    | 一鹿島神宮境内   | 一鹿島神宮境内   | 踊り披露         | 踊り披露         | 踊り披露         | 踊り披露         | 踊り披露         | 仲町通り囃し開始 | 仲町通り囃し開始 | 仲町通り囃し開始 | 18:00 | 16:40 | 15:40 | 15:00 | 14:20 | 14:00 | 13:50 | 13:15 | 13:00 |
|       | 春一一番、鹿島立ち | 春一一番、鹿島立ち | 春一一番、鹿島立ち | いきいきサロンひまわり前 | いきいきサロンひまわり前 | いきいきサロンひまわり前 | いきいきサロンひまわり前 | いきいきサロンひまわり前 | 踊り披露     | 踊り披露     | 踊り披露     | 18:00 | 16:40 | 15:40 | 15:00 | 14:20 | 14:00 | 13:50 | 13:15 | 13:00 |

## お問合せ先

鹿嶋市観光協会 ☎0299-82-7730  
<http://www.sopia.or.jp/kashima-kanko/>

鹿島神宮 ☎0299-82-1209  
<http://www.kashimajingu.jp/wp/>

鹿嶋市商工会 ☎0299-82-1919  
<http://www.sopia.or.jp/shokokai/>

鹿嶋市商工観光課 ☎0299-82-2911  
<http://city.kashima.ibaraki.jp/>

神栖市教育委員会 ☎0479-44-6496

鹿嶋市教育委員会 ☎0299-82-2911



# 春の訪れを告げる祭頭祭

## 祭頭祭の歴史

毎年三月九日「イヤートホヨトホヤアー」の歌に合せて色鮮やかな衣裳を身に付けた囃子

人が六尺(百八十センチ)の櫻棒を組んでは解き、囃しながら街中を練り歩く勇壮な祭りです。

奈良朝の頃、武運長久を祈つて旅立つてい  
った防人たちの「鹿島立ち」の故事を表わすと  
言われていますが、本来は五穀豊穣・天下泰  
平を願う祈年祭と言えます。

鹿島地方に春を呼び、人々の健康や豊作を願つて行われます。



祭頭祭参列後、年社、月読社を参拝し本陣へ帰着。大総督は狩衣を解き甲冑を着装します。十二時より、ほら貝・太鼓が鳴らされる中、祭事委員長の掛け声を合図にいよいよ祭頭囃の行列が本陣を出立。行列が伊勢神社前に至り拝礼。その後行列は仲町通りへ向かいいます。

色鮮やかな衣裳の囃人が、ほら貝や太鼓の音に合せて、囃し唄を歌い、ガツシ、ガツシと櫻の棒を組みながら、仲町通り・角内通り・大町通りを練り歩き、いよいよ鹿島神宮に囃し込みます。威勢のいいかけ声は夕刻まで神宮の森に



# 鹿島神宮祭頭歌

いやほえかしまとよたけとほよとほいや  
弥發生鹿島の豊竹豊穂良豐穂弥  
いやとほよとほやおしゃくとほよとほいや一ほえ  
礼富穗善豊穂弥アヤレソラ御社樂豊穂良穂弥發生

イヤー！ホエ鹿島の豊竹トホヨトヤ  
イヤートホヨトホヤアー、ヤレン  
おしゃらくめでた

御社樂目出度いイヤーホ工  
イヤーホ工若者揃ふたよトホヨトヤ

イヤー！トホヨトホヤアー、ヤレンラ  
太鼓に合わせてイヤー！ホエ

イヤーホエ宮山参りはトホヨトヤ  
イヤートド『トドヤ』、ヤレン

氏子の喜びイヤーホエ  
たづく びとら  
イマノホエ工田乍り人等はヘホヨヘヤ

六二曰作りノ等はト六三トヤ  
イヤートホヨトホヤアレ、ヤレンラ

御國の磧  
イヤーイ  
ヤー工  
おおみ よゆた

祭頭祭は、年間八十回を数える鹿島神宮の行事の中でも最も規模が大きく、勇壮な祭典です。午前十時、昨年の春季祭で当番にト定された大総督が狩衣姿で家族役員に護られながら昇殿し祭頭祭が厳かに執行されます。

代とも諸説ありますが、文献として遡りうる  
のは建仁四年(一一〇四)でこの時は、片野・長  
保寺と平井・宝持院が祭の頭人を務めています。  
祭頭祭の祖形はその囃言葉からも窺えますよ  
うに五穀豊穣、天下泰平を主な願意とする祈年  
祭に近く、しかも地域に密着した祭りでした。  
現に明治初期の茨城県への進達書には祭頭祭  
を「祈年祭」と規定しています。明治までの神仏  
混淆時代では二月十五日の釈迦入滅の常樂会に  
習合し、その名残りから男子の大総督を今でも  
「新発意」と表現しています。

# 祭頭祭案内図と見どころ

← 左方 奈良毛郷 進行  
→ 右方 萩原郷 進行



至潮来IC

年社(北郷参拝)

至水戸

51号バイパス

コンビニ

鹿島神宮駅

観光協会 バス乗場

高速バス乗場

13:00  
出陣

右方本陣

雌の踊り披露

■ 14:00~  
15:00

雌しながら  
ねり歩く

(ホテルがんけ)

うちだや  
休憩所



春季祭(18:00~)

鹿島神宮

城山公園

コンビニ

車

P

タクシー  
乗場

WC

サブロード鹿島

IC

鹿島市  
商工会館

角内通り

角内通り

ホテル古保里

鹿島高校

鹿島小学校

宮中交番

★は踊り等の披露場所

■交通

駐車場が少ないため、なるべくJR線、高速バス特急かしま号(東京—鹿嶋間1日78往復、所要時間約2時間)をご利用下さい。

雌の踊り披露

■ 13:00  
14:00

いきいきサロン  
「ひまわり」

休憩所

賑わい広場

大町通り

左方本陣  
(新仲家)

仲町通り

伊勢神社

WC

大駐車場  
(大型バス可)

高

12:00  
出陣

楼門

拝殿

本殿

本殿前にて  
一斉雌し。  
勇壮そのもの

注目

馬簾

出陣前の馬簾

歩行者用道路

3/9 11:00~17:00

3/9 12:00~15:00

3/9 12:00~13:30

有料駐車場

※規制時間に留意してご利用下さい。

月読社  
(南郷参拝)

桜町通り

国道124号

至神栖

高速バス停留所

乗場 高

降場 高



回り  
揃え  
竿  
竹

大豊竹  
竿  
申字

物申  
抽籤  
字

春季祭  
申字

祭頭  
雌

新発意  
祭頭  
雌

本陣  
北郷南郷  
鹿島神宮を中心とした大字を  
北郷、南を南郷といいます。

奉仕字が祭頭祭当日、拠点と  
する宿をいう。町内の旅館など  
を借り上げる。

一軍の将としてト定後に選ば  
れる五才前後の男兎。大総督  
又は小僧さまとも呼ばれる。

勇壯なもの。  
なり、太鼓の音に合わせて祭  
頭歌を声高らかに歌いながら、  
櫻の棒を組んでほごし、ほ  
ごしては組む所作を繰り返す

十五、六名の雌し人が一組と  
しては組む所作を繰り返す

勇壯なもの。  
なり、太鼓の音に合わせて祭  
頭歌を声高らかに歌いながら、  
櫻の棒を組んでほごし、ほ  
ごしては組む所作を繰り返す

祭頭祭特殊用語あれこれ

最終的な練習と棒数の確認を行ふ行事。  
鎮守の社をはじめ、大総督家、  
または学校や大字内を囃し廻ること。

祭頭祭当日神前に立てられる  
根堀りの真竹、一年を通じて  
注連をかけ大切に育てられる。

行う行事。  
大豊竹の確認を行ふ事。

三月九日午後六時に執り行う  
御当の籤に入った大字のこと。  
前回当番より約二十年で入る  
関係する。

当番がト定した大字を担当す  
る神職のこと。一年間祭事に  
関係する。

三月九日午後六時に執り行う  
御当の籤に入った大字のこと。  
前回当番より約二十年で入る  
関係する。

当番がト定した大字を担当す  
る神職のこと。一年間祭事に  
関係する。



右方  
萩原郷

心意気で祭頭祭を奉納致します。

「神の森  
舞さうか  
奈良毛郷  
祭頭祭」をス  
ローガンに五穀豊穣、世の平和と人々の幸せを  
祈りつつ、これまでの伝統を次世代に引き継ぐ  
意気で祭頭祭を奉納致します。



●奈良毛郷の紹介  
奈良毛郷は鹿  
島神宮から7km  
北西の北浦湖岸  
に広がる集落で  
あります。

左方  
奈良毛郷

店が立ち並ぶ生活の中心地としてにぎわいまし  
たが、鹿島開発事業、町制、市制施行に伴い地  
区も様変わりして参りました。  
今回の祭頭祭を契機に、萩原区の連帯感の強  
化を図り、地区の活性化に結びつけて参りたい  
と考えております。  
1940年以来74年ぶりに奉納することにな  
りました。勇壮に元氣いっぱい囃しますので一致  
団結した萩原郷の姿を見せてください。

## 鹿島港と鹿島臨海工業地帯



鹿島・神栖市にまたがる鹿島港を中心に鹿島臨海工業地帯が広がっています。

# 第44回 宮中ふるさと市

2016年3月9日(水)

●時間：午前10時～午後4時  
●場所：ホテル古保里前  
観光協会駐車場

### 飲食コーナー

- から揚げ
- 焼きそば
- たこ焼き
- ビール・ジュース
- ポップコーン他

※品目は多少の変更があります。

### 特産品販売

- ト伝まんじゅう
- うみの音(洋菓子)
- いいどこまんじゅう(和菓子)
- 鹿島城ト伝(地酒)・てんび(焼酎)
- 鹿島の焼きいも

### bingo大会

(PM3:00予定)

●賞品多数あり●

## 鹿島神宮周辺

## まちあるきマップ



### 七福神めぐり

にこやかな表情の七福神の石像が通りに並んでいます。中には握手を求めるように右手を差し出しているものも。縁起のいい神様たちにごあいさつして回ると、福を招きます。



- |       |        |
|-------|--------|
| ① 布袋  | ② 大黒天  |
| ③ 福禄寿 | ④ 昆沙門天 |
| ⑤ 寿老人 | ⑥ 恵比寿  |
| ⑦ 弁才天 |        |

### 鹿島歴史めぐり

#### 8 塚原ト伝の像

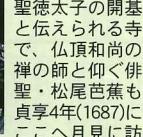


宮本武蔵との“なべぶた試合”的話で知られる塚原ト伝(1489~1571)は、鹿島新当流の開祖。その偉大な功績を記した碑と銅像が剣聖塚原ト伝誕生五百年を記念して建立されています。

#### 10 根本寺



聖徳太子の開基と伝えられる寺で、仏頂和尚の禪の師と仰ぐ俳聖・松尾芭蕉も貞享4年(1687)にここへ月見に訪れていました。その様子は「鹿島紀行」にも記されており、境内には“月はやし梢は雨を持ちながら”などの句碑も建てられています。



#### 6 要石

地震を起こすなまますの頭を押さえているといわれる靈石です。いくら掘っても全容は掘り尽くせないといわれ、“鹿島の七不思議”的一つにも数えられています。



#### 7 御手洗池

この池は、古くから神職のみぞぎの場で、大人が入っても子供が入っても水面が胸の高さを越えないといわれ、“鹿島の七不思議”的一つとなっています。



#### 9 鹿島城山公園



鹿島神宮駅から徒歩5分の距離にあるこの公園は、市民の憩いの場。北浦を望む場所には鹿島城跡の碑も建っています。

#### 12 一之鳥居と北浦の夕日



大船津はその昔鹿島神宮参拝の玄関口として賑わい、水上に建つ一之鳥居は景観が親しまれています。その往時をしのび平成25年に建てられたのが現在の一之鳥居です。

### 鹿島神宮めぐり

#### 1 大鳥居

東日本大震災で倒壊した鳥居にかわり、平成26年6月に竣工しました。神宮の森で数百年育まれた天然杉四本が使用され、その素朴で雄大な姿は震災復興のシンボルとして親しまれています。



#### 2 標門

寛永11年(1634)、徳川頼房公が奉納したこの門は「日本三大楼門」の一つ。緑の中にひとときわ朱色が鮮やかです。なお「鹿島神宮」の扁額(へんがく)は東郷平八郎元帥の直筆によるものです。

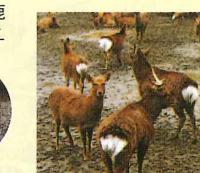
#### 3 本殿

社殿は元和5年(1619)徳川秀忠公により奉納されたもので、桃山期の極彩色が華やか。本殿・幣殿・拝殿・石の間のいずれもが国の重要文化財の指定を受けています。社殿の背後にある杉の巨木は根廻り12m樹齢1,200年と推定されるご神木です。



#### 4 鹿園

園内に遊ぶ鹿たちは、「神のお使い」。現在の鹿は、鹿島から移された春日大社(奈良)の鹿の子孫を再び受け継いだものです。「アントラー」とは鹿の角のこと。Jリーグ「鹿島アントラーズ」の名もここに由来しています。



#### 5 奥宮

慶長10年(1605年)、徳川家康が閑ヶ原の戦勝のお礼に本殿として奉納されました。二代将軍、徳川秀忠による社殿造営の際に現在の処に引き遷したもので、重要文化財に指定されています。

